

3 焦らずしつけを

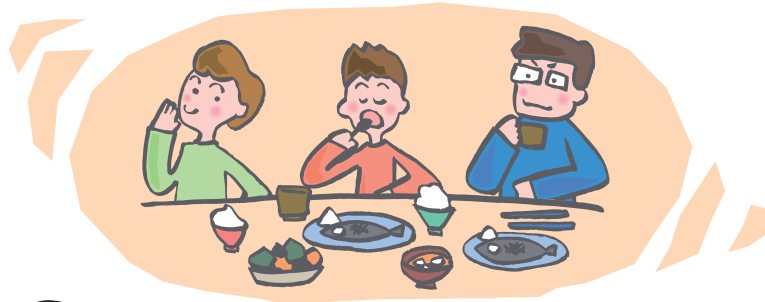


今晚のおかずは和食。焼き魚に野菜の煮物、みそ汁です。



今晚のおかずは、焼き魚だよ。
新鮮でとっても栄養があるよ。早く食べなさい。

焼き魚かあ。骨がいっぱいあるからいやだよ。
ぼくの好きなカレーがいいな。



親
1



「困った子ね。
一応カレーも買ってあるんだけど、それにする。
すぐに、お湯を沸かして作ってあげるからね。」

「食事は楽しく」がモットー。子
どもにおいしく食べさせること
を重視する。子どもが喜ぶカレー
にかえ、メニューにはいやがる
ものはなるべく出さない。

親
2



「何を言ってるんだ。子どもは親が作った
おかずのことに口を出さないの。
文句を言わずに、さあ、早く食べなさい。」

子どもが好きなものを食べたい
と言っても取り合わない。
我慢して食べさせる。栄養や
しつけを重視する。

親
3



「今日は新鮮なサバが安かったの。旬のサバは
おいしいよ。栄養があって、お肌もピカピカに
なるんだよ。今度、またカレーにしようね。」

今度はカレーもしてあげるから
と、今日の焼き魚や野菜の煮
物の良さを話す。そして、親子
で対話をし、子どもを納得さ
せる。

あなたのご家庭で、お子さんが左記のような反応をした時、どのように対応されますか。
親①～③のどれに近いですか。
また、しつけ全般で気をつけておられることはどんなことですか。

◆ 参考となるしつけのポイント ◆

しつけは大切ですが、しつけなくてはという気持ちから、親がつい声を荒げたり、手を出してしまったり、親自身その行動に歯止めがきかなくなってしまう場合があります。子どもたちの要求に迎合せず、繰り返し親としての考えをしっかりと伝えましょう。しつけには、様々な工夫を考えながら、繰り返し繰り返し伝えることが大切です。

POINT